

2023年度学区防災訓練 各防災部エリア内の訓練

大災害発生時の一連の流れ(初動訓練・安否確認訓練・初期消火訓練・避難支援訓練)を記載しています。

- ◆ 今回は時間的に全訓練は実施出来ませんので、各防災部の体制に則した訓練を実施してください。
- ◆ 学区本部との通信訓練(下記図内のスマホマークのある4ヶ所)は必ず実施してください。

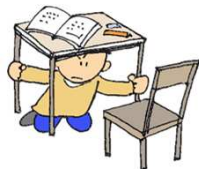
①地震発生



琵琶湖西岸断層帯、花折断層帯連動直下型地震発生
震度7。学区全体に甚大な被害が発生

②各家庭初動訓練

各家庭では、初動動作訓練(身を守り、
ガス・電気の元栓、避難路確保)をする。



9:00 学区本部より、各防災部長に被害情報収集を指示

③安否確認訓練

各家庭では、向こう三軒両隣に声掛けあって安否確認を行う
各組長は自分の組の安否確認状況、被害状況
(人的・住宅被害、火災発生)を情報連絡班長に報告



9:10 防災部長は、学区本部へ被害状況・避難想定人数を連絡

④避難所開設要請(学区本部)

学区本部では、被害状況をもとに市災害対策本部へ避難所開設を要請する。
その後、避難所開設準備に入る

⑤初期消火・救出訓練

防災部長は各組の被害状況を把握し
・消火班に初期消火を指示
・救出救護班に被災住宅から救出のための救助活動を指示



9:20 学区本部より、各防災部長に避難所開設連絡

⑥避難開始(一時避難場所集合)

◆ 防災部長より防災部の各班長に避難指示伝達
◆ 情報連絡班長はハンドマイク 他で自治会内に避難指示を伝達
◆ 要支援者班長は、支援協力者とともに要支援者に声掛けし避難誘導



⑦避難人数確認

防災部長は、一時避難場所で避難人数を確認し



出発時: 学区本部へ防災部名と確定避難人員を連絡

⑧避難所へ向けて出発

避難誘導班は、第二次避難場所までの安全な通路を把握し、防災旗を先頭に避難誘導する



安否確認方法

安否確認方法が確立されていない防災部は、下記の方法を参考にして確立して頂くようお願いします。

今回の訓練では実施は無理でも、次年度又は災害時に実施出来るよう速やかに防災部内で検討をお願いします

報告型

各戸が安否状況を班長などへ報告します



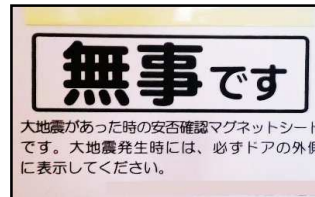
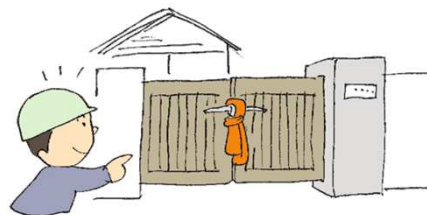
訪問型

班長などが各戸を訪問して安否状況を確認します



掲示型

無事である場合、各戸が門前に黄色タオル等を掲示します。班長などが確認し、掲示されていない場合訪問して確認します。



マンションの玄関に掲示するマグネットシート

通信訓練連絡サンプル

本部との通信訓練における、安否・被害状況の報告、避難人数報告の文面サンプルです。

仮定の数字を入れて報告頂くようお願いいたします。

連絡先メールアドレス jishubo@oginosato.jp

安否状況報告

〇〇自主防災部

負傷者 名、 内重傷 名
避難想定人数 名

家屋全壊 件、 家屋半壊 件
火災燃焼中 件、 鎮火 件

(その他)

- 車両の通行障害が数か所発生
- 停電中
- ガス不通
- 断水中

一時避難所出発時報告

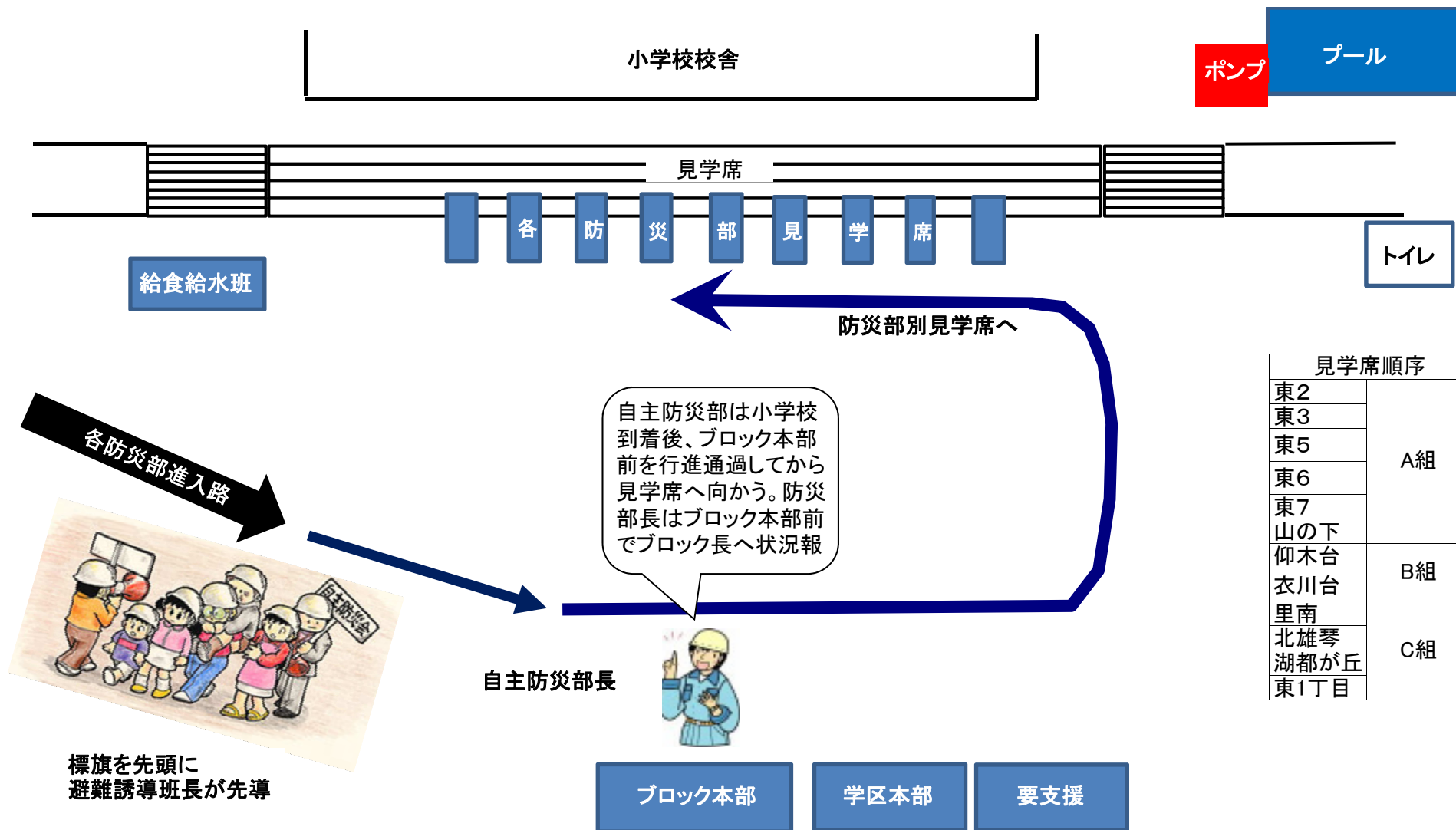
〇〇自主防災部

避難人数 名、 内要支援者 名

自宅避難者 名

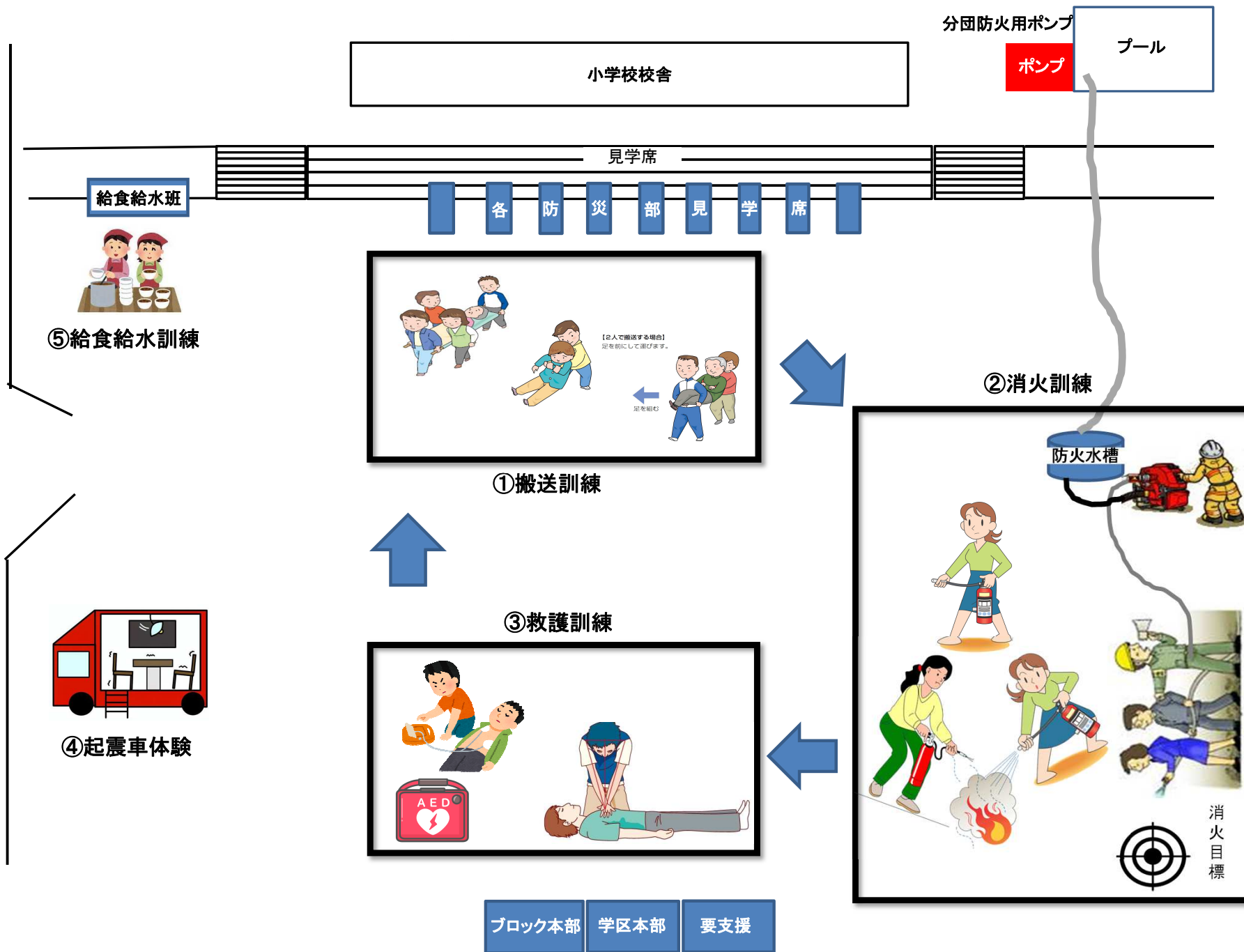
※自宅避難者とは、在宅であるが食料・救援物資が必要な方です。

2023年度仰木の里学区自主防災会防災訓練 避難入場要領

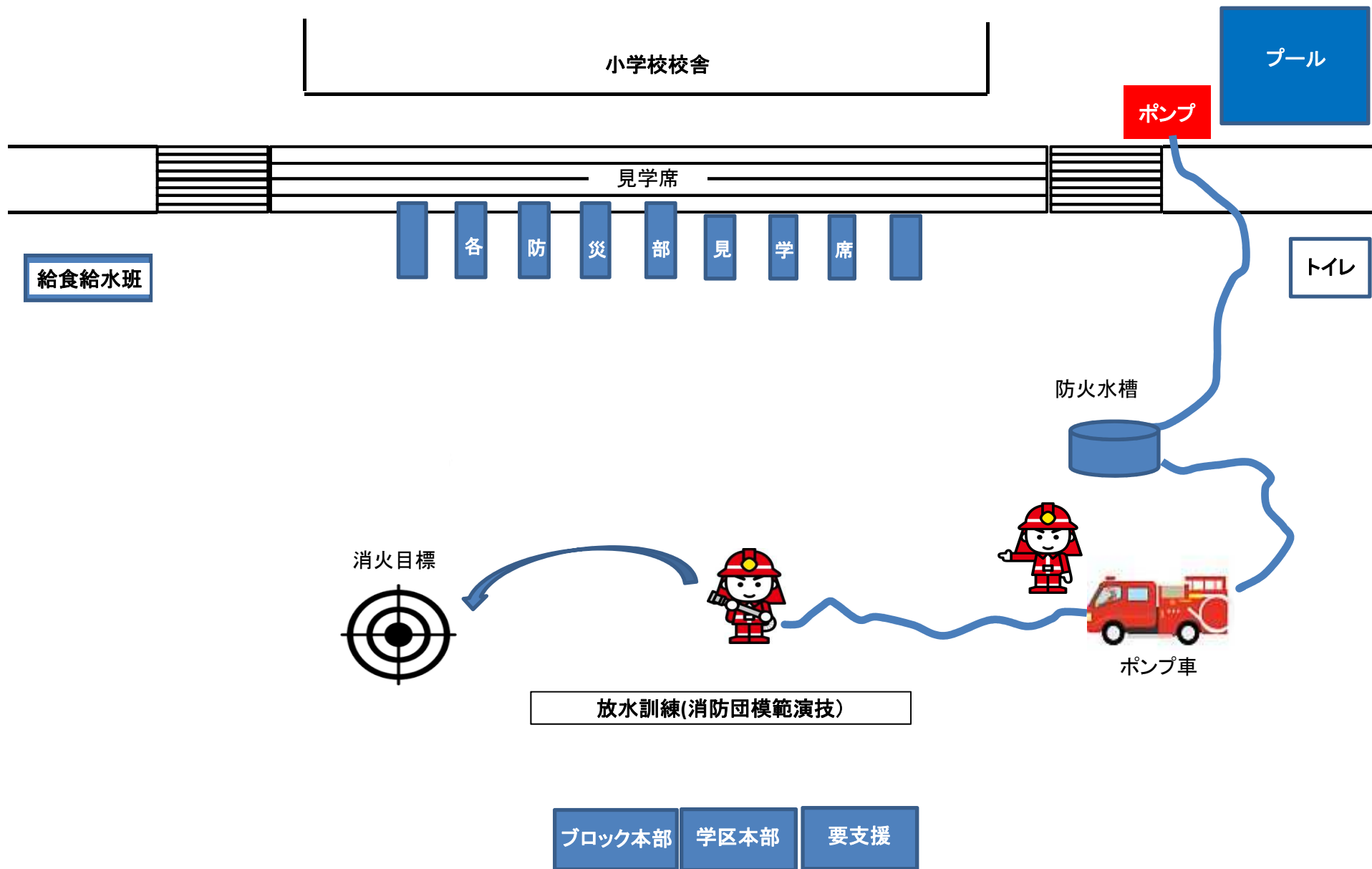


見学席順序	
東2	A組
東3	
東5	
東6	
東7	
山の下 仰木台	B組
衣川台	
里南	C組
北雄琴	
湖都が丘 東1丁目	

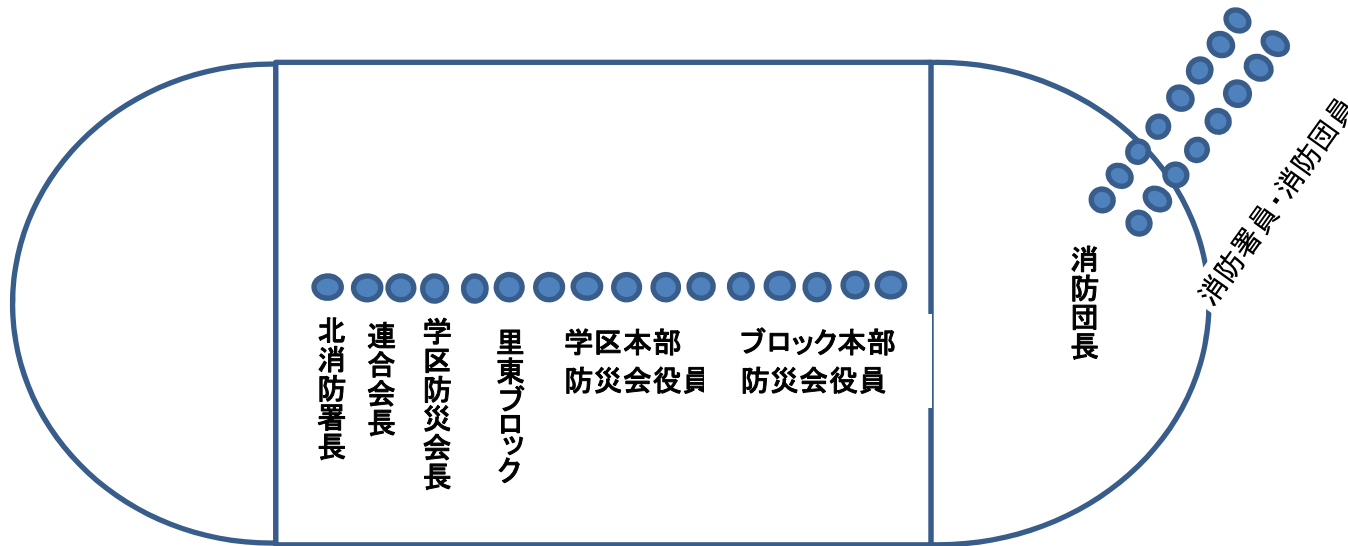
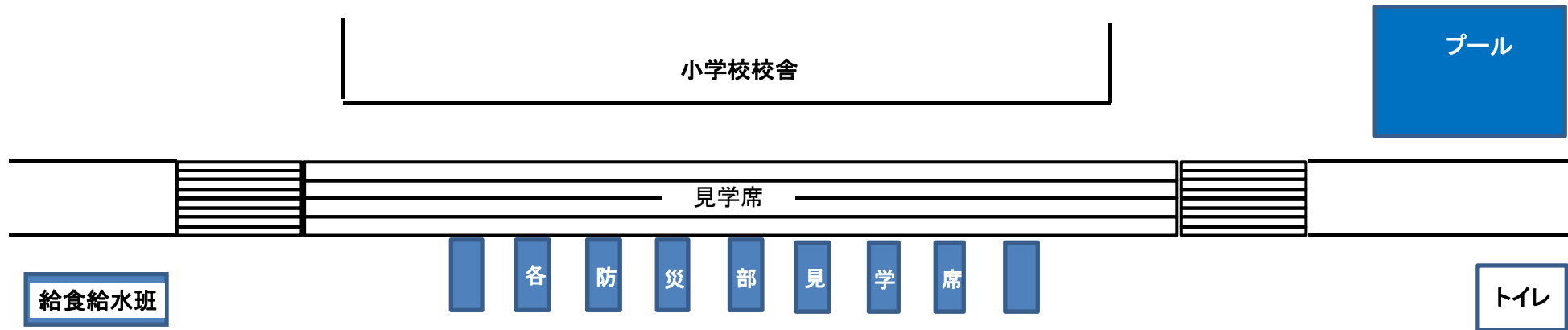
2023年度仰木の里学区自主防災会防災訓練 訓練配置図



2023年度仰木の里学区自主防災会防災訓練 消防分団模範演技配置図



2023年度仰木の里学区自主防災会防災訓練 閉会式配置図



閉会式次第

- ・学区防災会長挨拶
- ・自治連合会長挨拶
- ・大津市北消防署長講評
- ・消防分団
- ・自主防災会ブロック長閉会挨拶

(学区本部・ブロック本部防災会役員
はジャンパーヘルメット着用のこと)

